

たまだれ
No.5

玉
舞



十二段舞楽「太平楽」

小國神社オフィシャルホームページアドレス

<http://www.okunijin.jp/>

小國神社十二段舞楽の調査にあたって



新潟大学教授 伊野 義博

美しく、そして貴重な文化財である小國神社十二段舞楽。初めてこの舞楽に出会った時、私は舞と楽との関係に、とても興味を持ちました。それは、舞の所々で、舞人が楽と一定の距離をおいて舞う点にあります。舞は大抵、笛や太鼓に合わせて舞われるのですが、時折それらとは関係せずに所作が行われるのです。

笛や太鼓と離れて舞うその姿は、何ともいいようのない不思議な感じで、私はたちまち森町の舞楽の虜（とりこ）になってしまいました。この度、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センターからの依頼もあり、こうした森町舞楽の楽と舞との関係を明らかにしたいと思い、調査をさせていただきました。

さて、「唱歌（しょうが）」という言葉があります。日本の音楽で楽器の習得をする際、口で旋律を唱えて練習をやりやすくするために用いるものであるという解釈が一般的です。三味線の「テントンシャン」とか、太鼓の「テンツクテン」などといったものを思い出していただければ結構です。

この「唱歌」、実は舞楽の舞を覚える時にも大変重要な働きをいたします。舞人や指導者は、唱歌を唱えながら練習を重ねていくのです。この点、小國神社の舞楽も例外ではありません。

唱歌は、笛の節や太鼓のリズムを模して唱えているため、

舞楽の場合、基本的に楽と同じものが多いため、唱歌は舞の練習と楽の習得の双方に役立つことができます。例えば、新潟県能生町白山神社舞楽の場合、唱歌を覚えれば、舞を舞う時も笛を吹く時も、それを頼りに学習できるわけです。ところが、小國神社の舞楽では、「笛の唱歌」と「舞の唱歌」の別があり、これらの関係には双方同一の場合と異なる場合があるのです。前者の場合、すなわち「舞の唱歌」と「笛の唱歌」が同じ時は、舞人は楽に合わせて舞うことになり、楽と動きは一致します。例えば「鳥の舞」などがそうです。しかし後者では、舞人は「笛の唱歌」とは異なった「舞の唱歌」により舞うために、楽の流れと舞の動きは合いません。例えば、「新鞆鞆」では、こうしたおもしろさを楽しむことができます。さらに、興味があるのは、打ち物（太鼓・鉦鼓）の位置づけです。打ち物は、「笛の唱歌」とともに打たれる場合と「舞の唱歌」に加えられる場合があるのです。「太平楽」を見ていると、この打ち物の関係が時々入れ替わり、舞を引き立た

せています。加えて、演目によっては、笛や打ち物の音が一切消えて、「舞の唱歌」のみで舞われることもあります。この時、境内に楽は聞こえず、舞人の舞う姿だけが視覚的にとらえられます。この点において「安摩」は、とても魅力的な舞です。今後の調査では、こうした舞と唱歌との関係の詳細をいっそう明らかにしたいと考えています。

調査は、打田宮司様はじめ、関係の皆様からの多大な御協力により進行しています。ここに紙面を借りてお礼申し上げます。

—— 略 歴 ——

新潟大学教授（教育人間科学部）
専門は音楽教育学。

民俗芸能や民俗音楽の調査及び学習法の研究を通して、学校や地域の音楽文化継承の現状や課題について考えている。著書に『音の民俗学』（高志書院）、論文に「地方の舞楽における唱歌―身体性との関連から―」『民俗音楽研究 第24号』日本民俗音楽学会など。

例祭の齋行

四月十八日午前十時例祭が齋行されました。本年は静岡県神社庁副庁長櫻井豊彦様並びに森町長村松藤雄様をはじめ多数の皆様がご多忙中にも拘わらず、ご参列賜りました。

また、四月二十一日午後二時より神幸祭が齋行されましたが、生憎の雨天のため神輿渡御・勅使行列は略されて雨儀による齋行となりました。御本殿と拝殿の間に神輿が据え置かれ御霊を遷し、拝殿を神幸所（お旅所）に見立て神幸所祭を齋行し、引き続き還幸祭を齋行いたしました。神幸祭・勅使行列・稚児行列・巫女舞の各奉仕者のうち勅使役山本充喜様をはじめお先面役、稚児行列、巫女舞の皆様には着装をしてご参列いただき、玉串拝礼をいたしました。

また、恒例となります新茶の手揉み演奏及び接待が手揉み保存会の皆様により奉仕され、新茶は御神前に供えられました。献茶祭を含め前日祭（例祭の宵祭り）・献詠祭・氏子入り報告祭が例祭に伴いそれぞれ齋行され、大神様を称え、御神慮を賜りました。



舞楽奉仕者一同

指南役	大場 輝夫	安摩	鈴木 邦彦
副指南役	白幡 富幸	二の舞	鈴木 邦彦
師匠	大場喜久	師匠見習	鈴木 邦彦
	大場 篤	衣裳方	鈴木 邦彦
	小澤 広一	稚児	鈴木 邦彦
	天野 智加志		鈴木 邦彦
	大場 詞信		鈴木 邦彦
	北嶋 恵介		鈴木 邦彦
	内藤 明廣		鈴木 邦彦
	高木 誠		鈴木 邦彦
	小林 隆		鈴木 邦彦
	大塚 静雄		鈴木 邦彦
	大塚 佳毅		鈴木 邦彦
	大塚 勇輝		鈴木 邦彦
	鶴見 祐介		鈴木 邦彦
	山下 大貴		鈴木 邦彦
	谷川 正生		鈴木 邦彦
太平楽	大場 脩司		鈴木 邦彦
	神麻 敏亮		鈴木 邦彦
	大場 竜士		鈴木 邦彦
色香	朝比奈 教人		鈴木 邦彦

十二段舞楽奉仕者御芳名

（敬称略）



巫女舞

佐野由美・新貝美由紀
山下絃佳・原田珠江



稚児舞

山下大貴・鶴見祐介
大場勇輝・大塚佳毅



太平楽

大場竜士・神麻敏来
大場修司・谷川正生

太平楽・稚児舞・巫女舞
奉仕者御芳名(敬称略)



稚児行列

萩原 瑞奈	萩原 碧衣	井口 翔雲	中尾 一仁	米 潤司	加藤穂乃花	深田 亜美	林 若菜	有本 美香	太田 真輝	武蔵島夏海	平野 樹	小池 早紀	鈴木 啓慎
掛川市	掛川市	磐田市	森町中川	森町中川	森町中川	森町中川	森町中川	森町中川	森町中川	森町中川	森町中川	森町中川	森町中川

稚児行列奉仕者御芳名(敬称略・順不同)

「舞楽パンフレット」について

この春、森町の伝統文化芸能の継承、また広く多くの方にお伝えしようと森町教育委員会編集による重要無形民俗文化財「遠江森町の舞楽」のパンフレットが発行されました。

森町の舞楽には小國神社・天宮神社・山名神社の三社にそれぞれ古式の舞楽があり保存継承され、各例祭に奉奏されています。

この度発行されたのは各社十三頁のカラー冊子で神社・舞楽の由来や各舞が一つずつ説明されています。

小國神社と天宮神社の舞は十二段舞楽といい、山名神社の舞は天王祭舞楽といい天王寺の流れをくむものです。それぞれ比較してみるのも面白いでしょう。

当社の冊子につきましては、当社社務所へお問い合わせ下さい。



十二段舞楽パンフレット

古代の森シリーズ⑤

飯王子社(いおいおじや)

飯王子社は食物の神である保食神うけものかみをお祀りする境内末社の一社であり、一の鳥居をくぐり左側に鎮まります。故事によりますと、遠州横須賀(小笠郡大須賀町横須賀)に干ばつや長雨のため不作の年が続ききました。住民は小國神社に大豆をお供えして五穀豊穡を祈願しました。その夜、村長は霊夢に「瑞殿を横須賀の方に向け、保食神を飯王子社と称へ奉らば五穀みのらむ」との神託を授かり、神主にわけを話しました。そこで神託の通りにお祭りして以来、この地に不作なしと言われ、例祭日の二月十五日には必ず大豆をお供えします。この大豆を牛馬に食べさせると病気にかからず丈夫に育つと伝えられています。



飯王子社

久邇統理様ご参拝

桜の花が息吹き初めた三月二十四日に久邇邦昭様（神社本庁統理）がご家族と共にご参拝あそばされました。神社責任役員をはじめ敬神婦人会長及び職員がお出迎えをし、ご参拝後は、一人一人にお声をかけて戴きました。その後、境内の散策をお楽しみになりました。

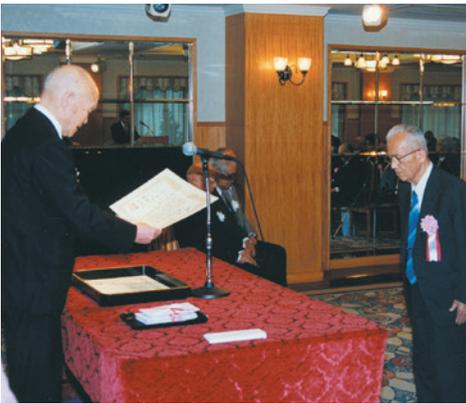


神道文化会表彰 塩澤重義氏受彰

去る五月二十四日、(財)神道文化会（神社及び神道を支える伝統的文化を護持・宣揚・普及し祖国の精神的復興を図る趣旨で設立）創立五十五周年記念式典が、東京大神宮にて開催されました。神道文化功労者として八名の方が選出され、『国学者小國重年の研究』が著された塩澤重義氏（森町天宮）が表

彰されました。表彰の理由としては、当社の社職であった小國重年の生涯を詳らかにした本格的伝記研究書であり、遠州を中心とする国学運動研究の先駆けの書として意義深く評価されたものであります。著者塩澤氏は、長年、神社総代、郷土史研究に携わり、また、歌道にも通ぜられ、『森町和歌史』『国語学史における松下大三郎』等の著述ももたらします。長きに亘る資料収集、調査研究の緻密公正さが、篤実な人柄とともに流麗明晰な文章にあらわれております。本書は、小國やエ子氏が自費出版なされたものであります。が家族の絆、先祖の心に思いを馳せ、郷土先賢の精神、業績を偲ぶものとして、又、国学研究に資する道しるべとしての貴重な書物の刊行を改めて感謝し喜びたく思います。

製作・頒布 羽衣出版
TEL〇五四・二三八・二〇六一



JR新幹線掛川駅構内 「電照大型看板」の設置

去る四月一日より新幹線掛川駅下り線ホームへあがる乗車階段（名古屋方面）の上部に大型電照看板を設置致しました。画面は、御社殿と紅葉をレイアウトしました。近年新幹線掛川駅は、都心からの利用者や静岡スタジアム「エコパ」の利用客など年々増加しております。そこで広報効果を期待し、設置致しました。



(縦1m19cm・横3m9cm)

ワールドカップ開催 記念御守の授与

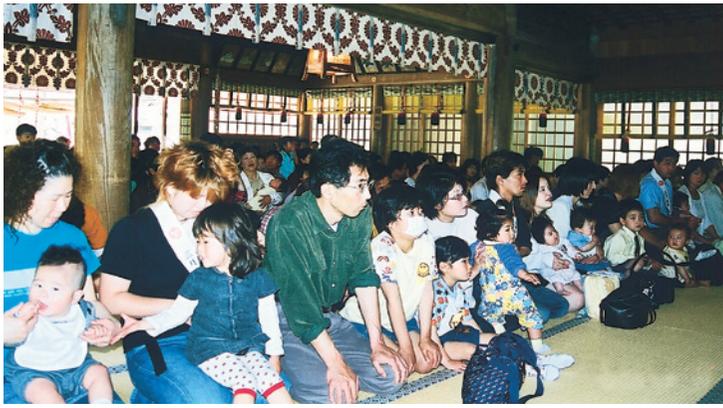
皆様ご承知の通り、五月三十一日にサッカーのワールドカップが開幕し、全国民が一丸となつてを歓声を上げ日本代表チームに熱いエールを送りました。当社ではワールドカップの日本開催を記念し御守と絵馬を授与しております。本年二〇〇二年に因んで御守の数も二〇〇二体限定で、通し番号入りと致しました。絵柄はマスケット二タイプとエンブレムの三種類で、願掛け絵馬はマスケットの絵柄です。御守、願掛け絵馬共に一〇〇〇円にて授与しております。



こども祭 (端午祭)

五月五日の端午の節句に「こども祭」が斎行されました。当社にて命名されたお子様とご家族をご案内致しました。本年は六十三組のご家族が参列し、お子様の元気な声で賑わう中、身体健康・無事成長のご祈願を致しました。

祭典後は、神札・柏餅・記念品、邪気を祓うとされています。菖蒲湯用の菖蒲の葉・よもぎの葉を授与致しました。



一宮花菖蒲園土壌改良

一宮花菖蒲園は小規模ながらも来園者より自然にとけこむ花菖蒲として「心が落ちつき和みます。」との声を戴き、初夏の風物詩として多くの方に親しまれています。しかしながら近年、花菖蒲の株がやせて花が少ないので、と嘆かれるようになりまし。花菖蒲は同じ土壌にくり返し植えると株が育ちにくいといわれています。そのため、毎年植替えをして株が育つように工夫をしてまいりましたが思ったより成果が見られませんでした。そこで、土壌の分析を専門家により実施しました。その結果、土壌自体に花菖蒲を育てる

力が足りないことがわかりました。足りない成分を補うことにより土壌に力をつけることが出来ます。葉は土を肥やす微生物やミネラルなど数種類を開園前に散布しました。短期間にも拘わらず株の著しい成長がみられました。今後も定期的に葉の散布を実施致します。来年には多数の方のご来園をお待ちしております。

命 名

平成十四年一月一日～平成十四年五月三十一日

白柳	里菜	浜松市	日野	総介	呉市	近藤	希美	浅羽町
村松	徹也	森町	渥美穂	乃花	浅羽町	鈴木南々帆	磐田市	
大庭	孝斗	浜松市	森下	陽太	森町	吉永	奈央	浜松市
齋藤	舞海	浜松市	天野	摂海	森町	鈴木	元和	浜松市
曾根	佳留	袋井市	飯田	健心	豊田町	西尾	元斗	袋井市
友田	咲来	磐田市	青木保奈美		掛川市	鈴木	琉花	浜松市
志水	翔悟	袋井市	柴田実衣奈		掛川市	伊東	歩夢	福田町
津田	篤志	磐田市	野尻	菜摘	磐田市	片桐奈瑞菜		袋井市
松下	桃果	袋井市	今村	洋夢	袋井市	坂倉	茉那	掛川市
河合	花菜	浜北市	増井	利矩	長泉町	島田	素也	愛知県
中尾	紀太	森町	高橋	稜賀	岐阜県	森川	卓哉	浜松市
村松	美侑	森町	西尾	和	掛川市	佐藤	花映	浜松市
河西	玲奈	名古屋	本榎	大和	掛川市	小柳飛悠雅		袋井市
藤田	唯菜	森町	徳増	祐弥	浜松市	水野	晴加	浜松市
鈴木	智也	三ヶ日町	岩附	泰生	森町	戸塚	優希	浅羽町
原	直也	袋井市	北谷	将吾	森町	下島由貴奈		浜岡町
前田	朱友菜	掛川市	鈴木	琢珠	浜松市	鈴木	穂夏	磐田市
佐野	梓	森町	山野邊圭祐		磐田市	村松	賢	森町
平井	亜実	大須賀町	松下	将万	菊川町	中村	圭祐	袋井市
鈴木	優那	袋井市	鈴木	花歩	袋井市			

当社では、お子様の命名を申し受けております。



花菖蒲

まつり歳時記

七月〜十月

七月

ふみづき
文月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 三十一日 境内地譲渡記念祭 (午前八時)
- 三十一日 愛宕神社例祭 (午前九時)

八月

はづき
葉月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十四日 甲子祭 (午前九時)

九月

ながつき
長月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十三日 秋季皇霊祭遙拝式 (午前九時)
- 二十五日 御柱祭 (午前十時)
- 二十五日 敬老祭安心祭 (午前十時)

十月

かんなづき
神無月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十二日 白鬚神社例祭 (午後二時)
- 十七日 神嘗祭当日祭 (午前九時)
- 十八日 月次祭 (午前十時)
- 十八日 福神像頒布式 (午前十時)
- 二十三日 甲子祭 (午前九時)



ひょうの木



事待池

静岡県神道青年会県外一泊研修
(震災復興視察)に参加して

権祢宜 丸尾 有二

五月二十三、二十四日の県外一泊研修に参加いたしました。今回の研修は、阪神淡路大震災から七年の間にとの復興をしたかを視察するものです。この震災では多くの尊い人命が失われまた多くの神社が被災しました。

当時、全国神道青年協議会が主催する阪神被災神社の支援活動に参加し、尼崎市武庫元町鎮座・須佐男神社へ出向いたしました。この神社は、拜殿が屋根に押し潰されて倒壊していました。

静岡県を始め九州地区等より五十名余りの神青協会員が集結し、大型重機等も動入して、倒壊した社殿の解体整地作業を奉仕しました。

今回の視察でこの神社は、社殿が平成十一年に以前の三分の二の大きさで立派に再建されたことを知りました。これは宮司様を始め氏子総代様のご努力と氏子の皆様方のご協力があったればこそと大変感銘し同時に嬉しく思いました。

新職員抱負



巫女 おおしあすか
大石安寿佳

社会人として新しい一歩を踏み出したのは三月十日でした。伝統ある神社のご奉仕に少し不安もありましたが、先輩の皆様にご指導をいただき、充実した毎日をおくっています。新しく学ぶことは山積みですが、確実に身につけて早く皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。

巫女として社会人として、まだまだ駆け出しではありますが、今後共宜しくお願い致します。



用務員 きむらしずこ
木村静子

この春、長年用務員を勤めておりました大場ふくさんが退職され、その後任として勤務をさせて戴く事になりました。今まで森町に長年住んでおりましたが小国神社の素晴らしさに改めて感動しております。春は桜から始まり四季折々の見事な自然の中で勤務が出来ます事に大変うれしく思い、毎朝静寂な神社の森の中へ吸込まれる様に通勤しております。朝は大神様に一日の無事業務が出来ます様に祈り、夕方は一日無事仕事が出来ました事を感謝しております。神社の行事に少しずつ慣れて来ましたが、まだまだ気の付かない点がありますので、皆様の御指導をよろしくお願い致します。

「小國の杜・点描」

立浪草（たつなみそう）

シソ科タツナミソウ属 多年草
高さ二十〜四十cm。五月頃、青色の花を穂状につけ、その姿を打ち寄せる波頭に見立てた名前です。ヒナノシヤクシ、スイモノグサ、コラシヨウモンとの別名もあります。同属にオカタツナミソウ、ビロードタツナミ、ヤマタツナミソウなどが知られています。



たつなみそう

河骨（こうほね）

スイレン科コウホネ属 多年草
浅い池や沼などに生え、根茎は白色で肥大します。六月頃より、水上に花茎を伸ばし、径5cmほどの黄色の花を上向きに開きます。漢方では根茎を川骨と呼び、強壯、止血、健胃などの薬効があるとされます。花菖蒲園内に植栽され、ひととき黄色の花が目をはきまします。



こうほね

蓬（よもぎ）

キク科ヨモギ属 多年草
地下茎を伸ばして増え、山野から人家近くまで普通に見ることが出来ます。善萌芽・善燃草・四方草・常世萌の意味からの呼び名といわれ、ヤキクサ・サシモグサ・モチグサなどとも呼ばれます。お灸のモグサや草餅、ヨモギ茶、和え物等に利用され、五月の端午の節句には、菖蒲とともに軒に挿したり浴場に入れます。古くから国内外で、邪気を払う魔除けの薬草として親しまれ、旅行にこの草を携えてゆくと災難にあわないといわれ、楽しい旅・夫婦の愛情・平安・幸福といった花言葉もあります。



よもぎ

巫女さんの想い

今年の春は、雨も少なく暖かな日が続いたため神社の梅も色づきが早く、摘む頃にはいつもより甘い香りを漂わせていました。色づいた梅は梅干に、青い梅は梅ジュースと一度に両方味わえるので今から漬上げがするのが楽しみです。(K)

編集後記

○「玉垂」第五号をお届け致します。新潟大学の伊野先生より「十二段舞楽の調査」について玉稿を戴きました。学術研究の視点から、舞楽を評価するものです。さらに、今後の調査が期待されます。

○小國神社のオフィシャルホームページがいよいよ開設されました。どうぞ皆様ご活用下さい。また、お気付きの点がありましたら、ご教示戴ければ幸いです。

表紙写真について

平成十四年四月二十一日午後四時、舞殿にて奉納される重要無形民俗文化財である「十二段舞楽」の「太平楽」を撮影致しました。雨もあがり新緑の中、稽古の成果が充分に発揮された見事なご奉仕でした。

平成十四年七月十日
「玉垂」（たまたれ）第五号
発行 小國神社社務所
郵便番号 四三七〇一三六
住所 静岡県周智郡森町一宮三九五六一
電話番号 〇五三八（八九）七三〇二
FAX 〇五三八（八九）七三六七
印刷 専サインオフィス エム・エス・シー